

日私
教研

いじめ対応緊急説明会開催

一般財団法人日本私学 十九日、東京・飯田橋の
教育研究所(吉田晋理事 東京都私学財団で「いじ
長、中川武夫所長)は一月 め対応緊急説明会」を開



約160人の私学関係者を前に講演する池田宏氏

の対応と題し、いじめの いった責任ある方に聞いて 教師集団の気付きの力を と訴えた。

実態や構造等を説明、学 向上させたいからで、今 また、いじめへの対応 上に人と時間がかかるも

校の組織的対応や関係機 日私教研としても今後、 後もこうした研修会を開 でのクラスの中から仲裁 のなので、余るくらいの

関との連携の必要性、危 いろいろ取り組んでいき いていきたいと語った。 者が現れること、学校全 体制(担当ごとの責任者

発生を受け急ぎよ、開催 機制的場面を迎えた際には たい」と語った。 その後、講演した池田 体でいじめを許容しない と人員を構築すること、

が決まったにもかかわらず 正確な事実把握等が重要 また、中川所長は、「日 室長は、初めに、いじめ 霧困気づくり、学校の組 学校全体での定期的な情

ず、全国から百六十二人 などなどを力説した。 私教研が行っている初任 は未然防止の中から見え 組織的対応、一貫校ならば 報共有、正確な事実の把 握、マスコミに対しては

いじめ問題で 開催

初期対応が最重要

文科省担当が講演

外部の知恵人材活用を

の私立中学高校関係者が 講演に先立ってあいさ 者研修、十年経験者研 てくるもので、危機的な

出席、いじめ問題に対す つした吉田理事長は、 修、職能別実務者研修、 状況では初期対応が最も

る関心の高さをうかがわ 「文部科学省の(いじめ問 教員免許状更新講習など 重要なこと、その際はト

せた。講師は文部科学省 題に対する)きちんとし あらゆる機会を通じて、 ップの意識が大事で、ス と校長が日頃から顔が見

の池田宏・初等中等教育 た考え方や対応、アドバ いじめ問題を取り上げて クールカウンセラーを含 える関係づくりをしてい

局児童生徒課生徒指導室 イスをお聞きすることと いる。それは現場を支え めて外部の知恵や人材を くことが大切とした。

長で「いじめの現状とそ し、まずは校長や教頭と る先生方の気付きの力、 うまく活用してほしい、 さらに危機的な場面を 学行政課長も出席した。

説明会には同省の森晃 憲・高等教育局私学部私

藤彰郎・同研究所理事が 校長が先頭に立って取り 組んでいく重要性を指 摘、緊急説明会を締めく

この後、参加者との間 で質疑応答が行われ、近 作ること、他のクラスの 必要性などを強調した。